

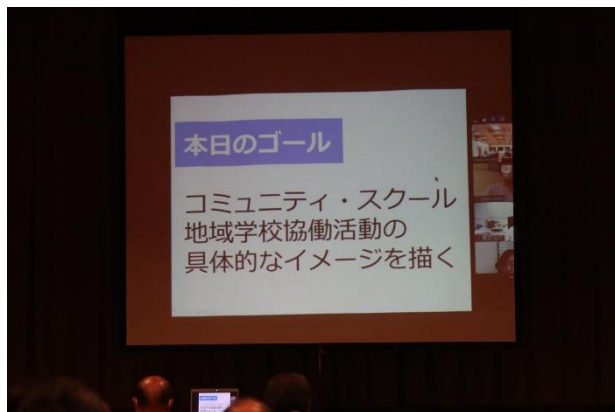
～飛騨市地域学校協働活動レポート 第2号～

2020年8月19日(飛騨市学園構想 Facebook ページより)

＜地域学校協働活動とは～オンラインで学びを得る～＞

8月18日夜、飛騨市地域学校協働本部・社会教育委員合同連絡会の2回目が開催されました。今回も、オンラインの参加 OK とし、市内のコミュニティスクール・社会教育活動に携わる方々が会しました。

今回は、文部科学省の派遣事業を活用しコミュニティスクールマイスターの井上尚子さんをオンラインでお招きし「さあ始めよう！でもどうしたら？～コミュニティスクール導入へのご案内」と題しお話しをいただきました。



タイトルの通り、飛騨市は昔からものすごく地域活動や学校との協力体制も強固です。しかしながら、制度として成り立っているものでないが故に、継続が難しくなってしまうたり、効果が見えにくかったりと、多くの方の努力のもとに成り立つ活動の効果が最大化していないという課題がありました。

今年4月に市内の小中学校が全てコミュニティ・スクールの認定を受け、学校運営協議会が開催されました。そこに紐づくものとして、地域学校協働活動がありますが、「いざとなると、まずどこから進めていくのがいいのだろうか？」と戸惑ってしまうこともしばしばあります。

今回のお話しでは、「まず学校の課題や、学校目標を知り、さらに学校評価をもとに取り組むべき課題を見つける」「社会教育委員さんは地域学校協働推進員の良き相談相手として連携しチームで進めていく」など、すぐに実践できる活動へのアドバイスをいただきました。

会場では、講師のお話しの後の対話にて、「活動に、もっと10～20代の若者を入れていきたい！」という声も聞かれ、参加者の方の熱い思いと講師の熱心さが画面越しでも伝わり合う時間となりました。

